



署名にご協力ください

患者負担増 みんなでストップ!

協会・保団連では、「患者負担を増やさないことを求める署名」(みんなでストップ!患者負担増署名)を集めています。現在、75歳以上の窓口患者負担を原則1割から2割にするをはじめとした、負担増が計画されています。この数年の間に、70~74歳の窓口2割負担や入院時食事代などの引き上げが実施されてきました。

これ以上負担増が進むと、必要な医療を受けることが難しくなります。負担がのしかかるのは、高齢者のみではなく、全ての世代に及びます。私たちは、お金の心配なく安心して受診できるよう、以下の事項を求めます。

- 一、患者負担を増やさないでください
 - 一、お金の心配なく安心して受診できるよう、窓口負担を軽減してください
- 会員の先生方には、署名用紙をお届けしております。まずは院長先生ご自身、ご家族、職員の方から、ご協力をお願いします。追加のご注文は、協会事務局 TEL:078-393-1807 まで。



署名用紙(上)の他にポケットティッシュなどのグッズもご活用ください

支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。



TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail naga@doc-net.or.jp 担当;長澤まで

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

399号

2018年11月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

第27回日常診療経験交流会 開催

多職種が参加し経験を交流



支部より八木秀満先生(左)と前田晃英氏(右)が報告した

第27回日常診療経験交流会が10月28日、神戸市産業振興センターで開催され、会員、スタッフなど、181人が参加した。医科・歯科・薬科交流企画「あなたのA Iのイメージは?~医療での○(マル)と×(バツ)~」のほか、救急フェスタやポスターセッションなどが行われ、幅広いテーマで交流が行われた(兵庫保

険医新聞11/5付で詳細既報)。

医科・歯科・薬科交流企画では、尼崎支部長の八木秀満先生が「支払基金改革と韓国の審査システム」、分科会では、野村医院の理学療法士の前田晃英氏が「自宅での転倒が増え、家族の介護負担が増加した症例~新人セラピストの1年間の関わり」を報告した。(2面につづく)

(1面のつづき)

八木先生は、保団連が今年5月に行ったコンピュータ審査先進国とされる韓国への視察会について報告し、韓国ではAIも含めた厳格なコンピュータチェックが行われるが、最終的な査定の大半は人

により行われており、コンピュータ審査の割合は日本の方が高いと紹介。日本における支払基金改革は人員削減、社会保障費削減を目的とした、医師の裁量権を軽視するものだと指摘した。

支部会員の先生方へ

未入会のお知り合いの先生、 ご子弟に入会を是非おすすめください

保険医協会は県下で7,400人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,600人を超える先生方にご利用いただいております。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟に是非、入会をおすすめください。



第539回幹事会だより

11月16日(金) 於: エルジーキッチン

- 尼崎支部の会員数
11/16現在 医科373人、歯科165人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
生活保護の個別指導、支部企画、医療情勢などについて討議、意見交換した。
- 次回の幹事会 12月21日に開催。
幹事会には会員の先生はどなたでもご参加いただけます。

支部文化企画

レトロなウォーキングを満喫



建築中の尼崎城(左)や赤煉瓦造りの尼崎信用金庫記念館(右)を背に記念撮影

支部では、11月10日に秋の文化企画「尼崎名建築ウォーク」を開催し、会員、家族らが市内の歴史的建築物をめぐるおよそ2.5キロの行程を楽しんだ。

当日は、阪神尼崎駅に集合し、尼崎信用金庫記念館、世界の貯金箱博物館(旧尼崎信用組合本部事務所)を経由して本町ビルや旧尼崎警察署、阪神電鉄資材部西倉庫などを訪れた。昭和5年に完成した貯金箱博物館では、世界62カ国、約1万3千点にもおよぶ貯金箱を見学。明治28年創業の尼崎共立銀行の元本店であった

本町ビル前で記念撮影し、尼崎の新たなシンボルとなりうる建築工事中の尼崎城を間近に臨んだ。尼崎城の二の丸跡に大正15年にできた旧尼崎警察署で折り返し、明治38年に操業を開始した旧阪神電鉄尼崎発電所である資材部西倉庫で全行程を締めくくった。

参加者は、貯金箱博物館で来館記念の貯金箱を受け取り、道中立寄った伝統の老舗飴屋「琴城ヒノデ阿免本舗」では名物の水飴を買い求めるなど、それぞれがレトロなウォーキングを満喫した。